



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月30日

(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

上場会社名 東海旅客鉄道株式会社

(コード番号: 9022 東証、大証、名証各第1部)

(URL http://www.jr-central.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 松本 正之

問合せ先責任者 役職名 取締役広報部長 氏名 宮澤 勝己

TEL (052) 564-2549

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日 ~ 平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	1,118,423	0.6	343,319	0.4	208,458	10.9	122,811	11.5
18年3月期第3四半期	1,111,516	5.0	341,958	16.8	188,003	46.8	110,134	23.3
(参考) 18年3月期	1,467,650		403,754		213,462		122,437	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	62,087.92	
18年3月期第3四半期	49,211.61	
(参考) 18年3月期	54,560.69	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	5,230,699	787,170	14.8	392,159.57
18年3月期第3四半期	5,373,040	958,935	17.8	428,482.15
(参考) 18年3月期	5,309,848	973,669	18.3	434,917.59

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	318,336	132,763	211,788	147,332
18年3月期第3四半期	368,896	81,081	138,491	227,810
(参考) 18年3月期	477,901	119,641	264,023	172,723

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,473,000	213,000	124,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 62,968円52銭

(注) 実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記(平成19年3月期の連結業績予想)については、中間決算時発表の数値に対し、その後の3ヶ月間の当社の運輸収入の実績を反映したものとしています。

[添付資料]

第3 四半期財務・業績の概況

当四半期（平成18年4月1日から12月31日までの9ヶ月間）における財務・業績の概況について、主な特徴は以下の通りです。

（1）経営成績

鉄道事業

- ・東海道新幹線については、昨年3月のダイヤ改正において東海道・山陽新幹線直通の「のぞみ」の利便性をさらに高めるとともに、ご利用の集中する時期・時間帯を中心に弾力的に列車を運行しました。
- ・在来線については、313系車両の新製・投入を着実に進めるとともに、昨年10月のダイヤ改正において名古屋地区の東海道線で快速列車を大幅に増強するなど輸送体系の整備を行いました。また、昨年11月には名古屋地区でICカード乗車券「TOICA（トイカ）」を導入しました。
- ・販売面については、「エクスプレス予約」について、昨年7月に東海道・山陽新幹線全線への利用拡大を実施するとともに、「エクスプレス予約」専用のさらにお得な割引きっぷ「エクスプレス早特」の設定列車・区間を拡大するなど、より一層のご利用増に努めました。また、京都をはじめ、奈良・伊勢・東京など各方面に向けた観光キャンペーンを展開したほか、50歳以上のお客様を対象とした旅クラブ「R東海50+（フィフティ・プラス）」会員に対する魅力ある商品の設定にも積極的に取り組みました。
- ・このような諸施策を実施したうえで、当四半期においても東海道新幹線、在来線とも安全・安定輸送を完遂し、輸送人キロについては、東海道新幹線は前年同期に比べ1.0%の増加、在来線は前年同期に比べ1.6%の減少となりました。

鉄道以外の事業

- ・ジェイアール名古屋タカシマヤについて、昨年3月にJRセントラルタワーズ最上階の展望台を全面的にリニューアルし、新たに「パノラマサロン」としてオープンするとともに、昨年9月には専門店ゾーンを含めた売場改装を実施したことなどにより、売上高は前年同期比6.7%増となりました。
- ・新幹線主要駅において、高架橋柱耐震補強にあわせ、構内店舗のリニューアルを進め、浜松駅「MAY ONE EKIMACHI（メイワン エキマチ）」などをオープンしました。
- ・保有資産の高度利用や有効活用の観点から、社宅跡地において、本年春開業予定の「NAGOYA CENTRAL GARDEN（ナゴヤ セントラルガーデン）」及び平成20年春分譲予定の「セントラルガーデン・レジデンス徳川明倫町」などについて建設を着実に推進しました。また、「JR東海新横浜駅ビル（仮称）」については、平成20年の開業に向け着実に建設を進めました。

これらの施策に加え、好調な経済状況もあり、一昨年の「愛知万博」の反動があったものの、当四半期の営業収益は前年同期比0.6%増の1兆1,184億円となりました。経常利益は、鉄道施設購入長期未払金の早期返済に伴う費用が減少したことなどから、前年同期比10.9%増の2,084億円、四半期純利益は前年同期比11.5%増の1,228億円となりました。

通期の業績予想については、営業収益は1兆4,730億円、経常利益は2,130億円、当期純利益は1,240億円を見込んでいます。

（2）長期債務等の状況

当四半期において、社債及び長期借入による調達を2,820億円実施した一方、鉄道施設購入長期未払金及び長期借入金を1,480億円返済しました。

なお、昨年4月5日に26.8万株の自己株式の取得を実施しました。

(3) 要約四半期連結財務諸表

要約四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当四半期末 (平成18年12月31日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成17年12月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)				
流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金	70,430	136,079	65,649	222,961
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	22,947	24,344	1,396	21,617
3. 未 収 運 賃	16,081	33,547	17,466	27,187
4. そ の 他 の 流 動 資 産	167,338	77,259	90,079	64,666
流 動 資 産 合 計	276,798	271,231	5,566	336,432
固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産	4,765,973	4,675,764	90,209	4,777,276
2. 無 形 固 定 資 産	14,308	12,181	2,126	14,776
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	252,768	271,522	18,753	244,554
固 定 資 産 合 計	5,033,050	4,959,468	73,581	5,036,607
資 産 合 計	5,309,848	5,230,699	79,148	5,373,040
(負 債 の 部)				
流 動 負 債				
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	49,790	38,785	11,005	35,721
2. 1 年 内 返 済 長 期 借 入 金	116,892	116,367	525	97,267
3. 1 年 内 に 支 払 う 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	186,336	186,082	253	198,989
4. そ の 他 の 流 動 負 債	313,967	295,291	18,676	283,555
流 動 負 債 合 計	666,988	636,526	30,461	615,533
固 定 負 債				
1. 社 債	415,000	544,963	129,963	395,000
2. 長 期 借 入 金	557,484	686,084	128,600	585,841
3. 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	2,269,879	2,146,284	123,594	2,397,493
4. そ の 他 の 固 定 負 債	411,703	429,670	17,967	405,450
固 定 負 債 合 計	3,654,066	3,807,003	152,936	3,783,784
負 債 合 計	4,321,054	4,443,529	122,475	4,399,318

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当四半期末 (平成18年12月31日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成17年12月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(少数株主持分)				
少数株主持分	15,124	-	-	14,786
(資本の部)				
資 本 金	112,000	-	-	112,000
資 本 剰 余 金	53,500	-	-	53,500
利 益 剰 余 金	783,703	-	-	771,400
その他有価証券評価差額金	25,420	-	-	22,989
自 己 株 式	954	-	-	954
資 本 合 計	973,669	-	-	958,935
負債、少数株主持分 及び資本合計	5,309,848	-	-	5,373,040
(純資産の部)				
株 主 資 本				
1. 資 本 金	-	112,000	-	-
2. 資 本 剰 余 金	-	53,500	-	-
3. 利 益 剰 余 金	-	891,444	-	-
4. 自 己 株 式	-	309,971	-	-
株 主 資 本 合 計	-	746,973	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等				
1. その他有価証券評価差額金	-	25,282	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	-	25,282	-	-
少 数 株 主 持 分	-	14,914	-	-
純 資 産 合 計	-	787,170	-	-
負 債 ・ 純 資 産 合 計	-	5,230,699	-	-

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

要約四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期 (自平成17年4月1日) (至平成17年12月31日)	当四半期 (自平成18年4月1日) (至平成18年12月31日)	増 減	(参考) 前連結会計年度 (自平成17年4月1日) (至平成18年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
営 業 収 益	1,111,516	1,118,423	6,906	1,467,650
営 業 費	769,558	775,103	5,544	1,063,895
1. 運輸業等営業費及び売上原価	644,749	648,728	3,979	904,713
2. 販売費及び一般管理費	124,809	126,374	1,565	159,181
営 業 利 益	341,958	343,319	1,361	403,754
営 業 外 収 益	3,162	3,562	400	6,745
1. 受取利息及び受取配当金	530	767	237	558
2. その他の営業外収益	2,631	2,794	162	6,186
営 業 外 費 用	157,117	138,423	18,693	197,037
1. 支 払 利 息	19,443	21,441	1,998	25,937
2. 鉄道施設購入長期未払金利息	102,467	92,041	10,426	135,154
3. その他の営業外費用	35,206	24,940	10,265	35,945
経 常 利 益	188,003	208,458	20,455	213,462
特 別 利 益	1,114	2,677	1,563	4,158
1. 工事負担金受入額等	396	741	344	3,140
2. その他の特別利益	717	1,936	1,219	1,018
特 別 損 失	3,332	4,446	1,114	11,059
1. 固定資産圧縮損	381	973	591	3,007
2. その他の特別損失	2,950	3,473	523	8,052
税金等調整前四半期(当期)純利益	185,785	206,689	20,904	206,561
法人税、住民税及び事業税	78,326	76,869	1,457	97,809
法人税等調整額	3,966	6,076	10,043	15,312
少数株主利益	1,290	931	359	1,627
四半期(当期)純利益	110,134	122,811	12,677	122,437

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期 〔自平成17年 4月 1日〕 〔至平成17年12月31日〕	当四半期 〔自平成18年 4月 1日〕 〔至平成18年12月31日〕	増 減	(参考) 前連結会計年度 〔自平成17年 4月 1日〕 〔至平成18年 3月31日〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	185,785	206,689	20,904	206,561
2. 減価償却費	173,128	160,244	12,884	234,854
3. 受取利息及び受取配当金	530	767	237	558
4. 支払利息	121,911	113,483	8,428	161,091
5. 売上債権の増加額	12,532	18,522	5,989	2,758
6. 仕入債務の増加額(は減少額)	8,362	11,196	2,833	5,708
7. 未払金の増加額(は減少額)	5,063	12,490	7,426	12,153
8. その他	78,455	70,768	7,686	100,653
小計	532,791	508,208	24,582	717,705
9. 利息及び配当金の受取額	556	793	237	584
10. 利息の支払額	87,259	79,842	7,417	163,200
11. 法人税等の支払額	77,191	110,823	33,632	77,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	368,896	318,336	50,559	477,901
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形・無形固定資産の取得による支出	83,907	123,136	39,228	128,096
2. 投資有価証券の売却による収入	101	11	89	111
3. その他(純額)	2,724	9,639	12,363	8,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,081	132,763	51,682	119,641
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 社債発行・長期借入による収入	85,500	282,063	196,563	170,000
2. 長期債務の返済による支出	174,523	148,097	26,425	388,023
3. 自己株式の取得による支出	-	308,988	308,988	-
4. その他(純額)	49,467	36,764	12,702	46,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,491	211,788	73,297	264,023
現金及び現金同等物の増加額(は減少額)	149,323	26,215	175,538	94,236
現金及び現金同等物の期首残高	78,486	172,723	94,236	78,486
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	824	824	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	227,810	147,332	80,478	172,723

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	905,609	135,927	28,619	41,360	1,111,516	-	1,111,516
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,981	5,042	14,918	48,792	77,735	(77,735)	-
計	914,591	140,969	43,538	90,152	1,189,252	(77,735)	1,111,516
営 業 費 用	591,587	135,175	33,229	87,712	847,705	(78,147)	769,558
営 業 利 益	323,003	5,793	10,308	2,440	341,546	411	341,958

当四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	908,852	138,149	28,834	42,585	1,118,423	-	1,118,423
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,816	6,739	15,193	50,518	81,267	(81,267)	-
計	917,669	144,889	44,028	93,104	1,199,690	(81,267)	1,118,423
営 業 費 用	591,964	139,239	33,626	91,744	856,573	(81,470)	775,103
営 業 利 益	325,704	5,650	10,401	1,360	343,117	202	343,319

（参考）前連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,187,944	183,103	38,046	58,556	1,467,650		1,467,650
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,857	7,603	20,186	86,518	126,165	(126,165)	
計	1,199,802	190,706	58,232	145,074	1,593,815	(126,165)	1,467,650
営 業 費 用	819,819	183,197	45,766	141,117	1,189,900	(126,005)	1,063,895
営 業 利 益	379,983	7,509	12,466	3,956	403,915	(160)	403,754

平成18年4～12月期の業績の概要（連結）

平成19年1月30日
東海旅客鉄道株式会社

1. 経営成績の概要

- ・中間決算は「愛知万博」の反動等で減収減益であったが、10～12月期において東海道新幹線のご利用が好調で増収となったことに加え、営業外費用が減少したことなどから、4～12月期では、増収増益となった。

(1) 営業収益（1兆1,184億円 前年同期比+69億円、0.6%増）

- ・当社単体の運輸収入は、中間決算では前年同期と比べて67億円減であったが、10～12月期においては90億円増となり、4～12月期でも23億円（0.3%）増の8,699億円となった。

- ・東海道新幹線については、昨年3月のダイヤ改正において東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」の利便性をさらに高めるとともに、ご利用の集中する時期・時間帯を中心に弾力的に列車を運行した。また、昨年7月に「エクスプレス予約」のご利用区間を東海道・山陽新幹線全線へ拡大するなど、より一層のご利用増に努めた。この結果、輸送人キロは、10～12月期に前年同期と比べて4.0%増加し、4～12月期でも1.0%増加した。また、4～12月期の運輸収入は46億円（0.6%）増の7,911億円となった。

- ・在来線については、313系車両の新製投入を着実に進めるとともに、名古屋地区において昨年10月にダイヤ改正、11月にはICカード乗車券「TOICA（トイカ）」の導入を実施。この結果、輸送人キロは、10～12月期に前年同期と比べて1.5%増加したが、4～12月期では1.6%減少した。また、4～12月期の運輸収入は22億円（2.8%）減の787億円となった。

- ・鉄道以外の事業においても、リニューアルを行ったジェイアール名古屋タカシマヤや新幹線主要駅の構内店舗が好調であった。

(2) 営業費（7,751億円 前年同期比+55億円、0.7%増）

- ・子会社の仕入経費の増加等から、前年同期と比べて増加。

(3) 営業利益（3,433億円 前年同期比+13億円、0.4%増）

(4) 営業外損益（1,348億円 前年同期比190億円改善）

- ・営業外損益は、昨年10月に実施した新幹線債務の早期返済に伴う費用減などにより、前年同期と比べて190億円改善。

(5) 経常利益（2,084億円 前年同期比+204億円、10.9%増）

(6) 特別損益（17億円 前年同期比+4億円）

(7) 四半期純利益（1,228億円 前年同期比+126億円、11.5%増）

2. 平成19年3月期の業績予想

- ・通期の業績予想については、中間決算発表時の数値に、10～12月期における運輸収入の増収分90億円を上乗せして、営業収益1兆4,730億円（前期比0.4%増）、経常利益2,130億円（同0.2%減）、当期純利益1,240億円（同1.3%増）に上方修正する。

要約四半期（個別）貸借対照表

（単位 百万円）

区 分	前事業年度 (平成18年3月31日)	当四半期末 (平成18年12月31日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成17年12月31日)
(資産の部)				
流動資産	243,109	235,131	7,977	307,266
固定資産	4,912,953	4,835,664	77,288	4,912,336
資産合計	5,156,062	5,070,796	85,266	5,219,603
(負債の部)				
流動負債	671,666	635,642	36,024	621,572
固定負債	3,531,139	3,689,413	158,274	3,658,859
負債合計	4,202,805	4,325,055	122,249	4,280,431
(資本の部)				
資本金	112,000	-	-	112,000
資本剰余金	53,500	-	-	53,500
利益剰余金	762,641	-	-	750,906
その他有価証券評価差額金	25,115	-	-	22,764
資本合計	953,256	-	-	939,171
負債・資本合計	5,156,062	-	-	5,219,603
(純資産の部)				
資本金	-	112,000	-	-
資本剰余金	-	53,500	-	-
利益剰余金	-	864,212	-	-
自己株式	-	308,988	-	-
株主資本合計	-	720,724	-	-
その他有価証券評価差額金	-	25,016	-	-
評価・換算差額等合計	-	25,016	-	-
純資産合計	-	745,740	-	-
負債・純資産合計	-	5,070,796	-	-

〔別紙3〕

要約四半期（個別）損益計算書

（単位 百万円）

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前事業年度
	自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日		自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日
営 業 収 益	914,271	917,676	3,405	1,199,616
営 業 費	588,198	589,233	1,034	815,862
営 業 利 益	326,073	328,443	2,370	383,753
営 業 外 収 益	2,747	2,822	75	6,155
営 業 外 費 用	155,195	136,633	18,561	194,525
経 常 利 益	173,625	194,632	21,007	195,383
特 別 利 益	970	1,920	949	3,961
特 別 損 失	932	1,546	613	7,088
税引前四半期（当期）純利益	173,662	195,006	21,343	192,256
法人税、住民税及び事業税	73,878	72,932	945	91,888
法人税等調整額	4,560	5,431	9,922	15,712
四半期（当期）純利益	104,345	116,641	12,296	116,080

平成19年3月期の（個別）業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,204,000	198,000	119,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 60,365円83銭

（注）実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記（平成19年3月期の（個別）業績予想）については、中間決算時発表の数値に対し、その後の3ヶ月間の運輸収入の実績を反映したものとしています。

輸送人キロおよび運輸収入の比較

(単位 百万人キロ、億円)

			平成17年 4～12月累計	平成18年4～12月累計		(参考) 平成18年10～12月の	
					前期比(%)	3ヶ月実績	前期比(%)
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定期	910	950	104.4	311	104.3
		定期外	32,516	32,819	100.9	11,265	104.0
		合計	33,426	33,769	101.0	11,576	104.0
	在 来 線	定期	4,024	4,069	101.1	1,331	101.5
		定期外	2,995	2,837	94.7	950	101.4
		合計	7,019	6,907	98.4	2,281	101.5
	合 計	定期	4,934	5,019	101.7	1,642	102.0
		定期外	35,511	35,656	100.4	12,215	103.8
		合計	40,445	40,675	100.6	13,857	103.6
	運 輸 収 入	新 幹 線	定期	109	114	104.2	38
定期外			7,755	7,797	100.5	2,684	103.4
合計			7,865	7,911	100.6	2,722	103.4
在 来 線		定期	250	252	101.1	84	101.6
		定期外	559	534	95.5	178	100.5
		合計	809	787	97.2	263	100.8
合 計		定期	359	366	102.1	122	102.5
		定期外	8,315	8,331	100.2	2,863	103.2
		合計	8,674	8,698	100.3	2,985	103.1
小荷物運賃・料金		1	0	55.6	0	51.1	
合計		8,676	8,699	100.3	2,985	103.1	

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載
2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入
3. 運輸収入は単位未満端数切捨